畜産みやぎ

発行所
名取市増田字柳田379番地1
社団法人 宮城県畜産会
電話（382－8133）
編集発行人　大　堀　　哲
定価　1部80円
印　刷　所　㈱東北プリント

第48回東北輓馬競技大会（H 10. 4. 26　涌谷町）

も　く　じ

平成9年度家畜共済事業実績について…… 2
平成9年度生乳需給状況並びに
平成10年度生乳需給調整対策について…… 4
農業公社牧場について…… 6
平成9年度地域養豚振興特別対策事業実績について…… 7
平成10年度畜産関係主要行事予定一覧…… 8
新入生と卒業生…… 8
草地の簡易更新技術…… 9
畜舎内アンモニアガスが家畜に及ぼす影響……10
新人紹介……10

平成9年度家畜共済事業実績について

NOSAI宮城

平成9年度の家畜共済の引受並びに事故実績がまとまりましたのでご報告いたします。

1. 引受関係（表1）

引受頭数は合計で138,086頭となり，前年度より2,730頭増加しました。これは短期引受等による重複引受の結果であり，実際は畜産農家の廃業，畜産を取り巻く環境問題等厳しい情勢の中，年々減少しています。共済金額合計では244億8,193万円となり，前年度対比で1億7,412万円減少しました。

2. 事故関係（表2）

死廃事故は損害防止に務めた効果もあり，全畜種合計で5,340頭と前年度対比で329頭減少しました。支払共済金でも8,773万円減少し，8億0,639万円と前年度を下回る支払となりました。

病傷事故は肥育牛で29頭増加したものの，全体では65,620件発生し，前年対比では3,696件減少し支払共済金では5,092万円減少しました。

平成10年度は，昨年より進めてまいりました家畜共済適正化〔適正引受，適正支払〕の定着を図るとともに，損害防止事業の強化に重点を置き，減少の中，収支改善に努めてまいりたいと思っております。

死廃事故の主要疾病状況は（表8）のとおりであり，例年と同じ病名で占められており，農家経営の安定と生産向上の観点からも，関係機関及び団体との連携を密にし，事故多発農家に対し事故低減を図ってまいりたいと思っておりますので宜しくご理解とご協力をお願い申し上げます

（家畜部次長　武蔵昌文）

平成9年度家畜共済引受状況（3月末現在）

	推進目標			平成9年度			平成8年度			増減			目標達成率		
	頭数（頭）	共済金額（千円）	一頭平均（千円）	頭数（頭）	共済金額（円）	一頭平均（千円）	頭数（頭）	共済金額（円）	一頭平均（千円）	頭数（頭）	共済金額（円）	一頭平均（千円）	頭数（%）	共済金額（%）	一頭平均（%）
乳牛の雌	27,000	4,671,000	173	27,339	4,276,366,764	156	26,102	4,316,788,803	165	1,237	－40,422,039	－9	101.3	91.6	90.2
（成乳牛）				25,006	4,148,434,589	166	24,297	4,189,594,209	172	709	－41,159,620	－6			
（育成乳牛）				2,333	127,932,175	55	1,805	127,194,594	70	528	737,581	－15			
肥育牛	29,100	6,790,300	233	28,794	6,061,288,714	211	27,661	6,262,736,533	226	1,133	－201,447,819	－15	98.9	89.3	90.4
特定肉用牛等	80,000	14,000,000	175	80,418	14,015,967,634	174	79,795	13,926,117,410	175	623	89,850,224	－1	100.5	100.1	99.4
（親牛）				47,908	11,969,732,306	250	46,787	11,840,959,383	253	1,121	128,772,923	－3			
（胎児）	32,790			32,510	2,046,235,328	63	33,008	2,085,158,027	63	－498	－38,922,699	0	99.1		
肉用種種雄牛				1	800,000	800	1	800,000	800	0	0	0			
一般馬	90	57,330	637	76	46,400,000	611	90	57,290,000	637	－14	－10,890,000	－26	84.4	80.9	95.9
大家畜計	136,190	25,518,630	187	136,628	24,400,823,112	179	133,649	24,563,732,746	184	2,979	－162,909,634	－5	100.3	95.6	95.5
種豚	1,700	93,500	55	1,458	81,103,864	56	1,665	91,646,084	55	－207	－10,542,220	1	85.8	86.7	101.8
肉豚	50	800	16				42	672,000	16	－42	－672,000		0.0	0.0	
中家畜計	1,750	94,300	54	1,458	81,103,864	56	1,707	92,318,084	54	－249	－11,214,220	2	83.3	86.0	103.9
合計	137,940	25,612,930	186	138,086	24,481,926,976	177	135,356	24,656,050,830	182	2,730	－174,123,854	－5	100.1	95.6	95.3

平成9年度家畜共済事故状況（3月末現在）

●死廃事故

単位（頭数：頭，共済金額：円）

	平成9年度					平成8年度					増減					伸び率				
	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金	死亡	廃用	合計	支払共済金	請求保険金
乳牛の雌	870	1,579	2,449	411,254,790	370,128,566	769	1,773	2,542	441,789,703	397,609,958	101	−194	−93	−30,534,913	−27,481,392	113.1	89.1	96.3	93.1	93.1
(成乳牛)	850	1,570	2,420	408,602,737	367,741,729	750	1,763	2,513	439,601,055	395,640,184	100	−193	−93	−30,998,318	−27,898,455	113.3	89.1	96.3	92.9	92.9
(育成乳牛)	20	9	29	2,652,053	2,386,837	19	10	29	2,188,648	1,969,774	1	1	0	463,405	417,063	105.3	90.0	100.0	121.2	121.2
肥育牛	451	464	915	171,736,134	154,562,260	468	544	1,012	208,919,793	188,027,548	−17	−80	−97	−37,183,659	−33,465,288	96.4	85.3	90.4	82.2	82.2
特定肉用牛等	1,521	292	1,813	211,793,747	190,614,165	1,577	332	1,909	227,327,607	204,594,670	−56	−40	−96	−15,533,860	−13,980,505	96.4	88.0	95.0	93.2	93.2
(胎児・出生以外)	316	284	600	137,143,842	123,429,339	293	316	609	145,611,255	131,050,012	23	−32	−9	−8,467,413	−7,620,673	107.8	89.9	98.5	94.2	94.2
(胎児・出生子牛)	1,205	8	1,213	74,649,905	67,184,826	1,284	16	1,300	81,716,352	73,544,658	−79	−8	−87	−7,066,447	−6,359,832	93.8	50.0	93.3	91.4	91.4
肉用種種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般馬	1	4	5	3,017,661	2,715,893	2	5	7	5,663,044	5,096,738	−1	−1	−2	−2,645,383	−2,380,845	50.0	80.0	71.4	53.3	53.3
種豚	93	65	158	8,589,152	7,730,202	96	102	198	10,404,907	9,364,359	−3	−37	−40	−1,815,755	−1,634,157	96.9	63.7	79.8	82.5	82.5
肉豚	0	0	0	0	0	1	0	1	16,000	14,400	−1	0	−1	16,000	14,400	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計	2,936	2,404	5,340	806,391,484	725,751,086	2,913	2,756	5,669	894,121,054	804,707,673	23	−352	−329	−87,729,570	−78,956,587	100.8	87.2	94.2	90.2	90.2

●病傷事故

単位（件数：件，共済金額：円）

	平成9年度				平成8年度				増減				伸び率			
	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金	件数	支払共済金	請求保険金	ほてん金
乳牛の雌	20,546	324,088,623	114,427,764	196,946,753	22,423	352,609,706	122,873,079	216,084,101	−1,877	−28,521,083	−8,445,315	−19,137,348	91.6	91.9	93.1	91.1
(成乳牛)	19,973	318,185,717	112,343,323	193,359,891	21,879	347,060,050	120,988,012	212,628,963	−1,906	−28,874,333	−8,644,689	−19,269,072	91.3	91.7	92.9	90.9
(育成乳牛)	573	5,902,906	2,084,441	3,586,862	544	5,549,656	1,885,067	3,455,138	29	353,250	199,374	131,724	105.3	106.4	110.6	103.8
肥育牛	11,410	118,348,832	43,338,341	70,195,130	11,599	124,284,774	45,273,224	73,981,198	−189	−5,935,942	−1,934,883	−3,786,068	98.4	95.2	95.7	94.9
特定肉用牛等	33,257	346,641,229	105,240,955	229,706,986	34,844	362,796,614	110,327,195	240,210,971	−1,587	−16,155,385	−5,086,240	−10,503,985	95.4	95.5	95.4	95.6
(胎児・出生以外)	21,683	204,455,523	64,813,889	132,440,199	22,124	205,176,774	65,250,991	132,675,763	−441	−721,251	−437,102	−235,564	98.0	99.6	99.3	99.8
(胎児・出生子牛)	11,574	142,185,706	40,427,066	97,266,787	12,720	157,619,840	45,076,204	107,535,208	−1,146	−15,434,134	−4,649,138	−10,268,421	91.0	90.2	89.7	90.5
肉用種種雄牛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般馬	43	471,610	155,640	298,678	46	549,570	174,027	356,207	−3	−77,960	−18,387	−57,529	93.5	85.8	89.4	83.8
種豚	364	2,472,230	678,388	1,718,466	404	2,699,060	732,938	1,884,685	−40	−226,830	−54,550	−166,219	90.1	91.6	92.6	91.2
合計	65,620	792,022,524	263,841,088	498,866,013	69,316	842,939,724	279,380,463	532,517,162	−3,696	−50,917,200	−15,539,375	−33,651,149	94.7	94.0	94.4	93.7

表3　平成9年度家畜共済死廃事故主要疾病発生状況（3月末）

●乳牛の雌

順位	CD	病名	頭数（頭）	割合（%）
1	320	関節炎	382	15.6
2	804	ダウナー症候群	382	13.6
3	705	急性乳房炎	278	11.4
4	440	第四胃右方変位	165	67
5	350	腰痿	163	67
		その他	1,129	46.1
		合計	2,449	100.0

●特定肉用牛等

順位	CD	病名	頭数（頭）	割合（%）
1	905	その他の胎子異常	329	18.1
2	110	心不全	163	9.0
3	455	腸炎	158	8.7
4	934	子牛虚弱症候群	134	7.4
5	936	その他の新生子疾患	110	8.1
		その他	919	50.7
		合計	1,813	100.0

●肥育牛

順位	CD	病名	頭数（頭）	割合（%）
1	110	心不全	141	15.4
2	314	肺炎	129	14.1
3	430	急性鼓脹症	107	11.7
4	468	脂肪壊死症	70	7.7
5	434	迷走神経性消化不良	52	5.7
		その他	416	45.5
		合計	915	100.0

平成9年度生乳需給状況並びに 平成10年度生乳需給調整対策について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成9年度の生乳計画生産は，「平成9年度以降の中期生乳需給計画について」に基づき，全国の総量で平成8年度の生乳出荷基礎目標数量に対し101.9%，生乳出荷基礎目標数量はそのうちの100.8%で，その差の90千トンが特別生産枠として設定されました。

本県においては，年度当初のヒアリングにより1,500トンの特別生産枠を確保し，平成9年度の生乳出荷実績目標数量は187,287トンとなりました。

しかしながら，本県の生乳生産は長引く景気低迷による増産意欲の減退と農家戸数や搾乳頭数の減少により，目標を大幅に下回る結果となりまました。(別表1)

用途別実績については，飲用向けは上期は比較的順調に推移したものの，年度後半から全国的に需要が落ち込み前年を下回りました。又，はっ酵乳等向け，生クリーム等向けについては，全国的に増加基調にあり，本県においても前年を上回りました。(別表2)

平成10年度の生乳供給計画数量は全国の総量で9年度の最終生乳出荷基礎目標数量に対し，100.7%，生乳出荷基礎目標数量は，そのうちの100.0%となりその差は前年に引き続き特別生産枠として設定されました。

又，本年度は新たに加工の平準化と合わせて用途別計画生産も実施されることとなりました。

本県においては，昨年度大幅な未達となった為，未達ペナルティー控除後の本年度生乳計画生産出荷目標数量は，185,010トンとなりました。(別表3)

尚，本年度は昨年10月に農水省畜産局より発表された「指定団体制度の在り方に関する検討会報告」を受けて4月より実施されました加工率の平準化や，用途別生乳計画生産，更には，今後の問題として生乳流通の広域化並びに指定団体の広域化等について協議をし推進することが重要な課題となっております。

こうした状況や急速に変化する生乳生産環境の中で，より今日的な共販体制の確立を目指す為にも県内酪農団体の組織整備についての検討が必要となっておりますことから，本年4月から本会に「組織整備推進対策本部」を設置し，その取り組みを強化することになりましたので，皆様のご理解とご協力を賜りますよう御願い申し上げます。

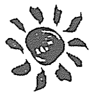
(販売課長　武田良介)

(別表1) 平成9年度月別生乳計画生産達成状況

(単位：kg，%)

生産者団体	上期計				下期計				累計			
	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量
蔵王酪農	16,631,897.0	99.62	99.35	▲ 108,103	16,631,773.0	101.04	100.79	129,773	33,263,670	100.33	100.07	21,670
宮城酪農	26,530,594.0	97.26	98.36	▲ 442,406	25,835,454.0	97.90	97.62	▲ 630,546	52,366,048	97.58	97.99	▲ 1,072,952
経済連	15,932,501.0	100.20	98.39	▲ 261,499	15,942,231.0	101.20	97.30	▲ 442,769	31,874,732	100.70	97.84	▲ 704,268
仙台酪農	3,411.192.0	105.84	108.19	258,192	3,187,780.0	99.77	104.86	147,780	6,598,972	102.82	106.56	405,972
県酪連	15,921,670.0	97.99	99.56	▲ 70,330	15,436,553.0	98.18	95.74	▲ 687,447	31,358,223	98.09	97.64	▲ 757,777
栗原酪農	3,898,387.0	93.19	93.04	▲ 291,613	3,651,797.0	92.86	90.26	▲ 394,203	7,550,184	93.03	91.67	▲ 685,816
登米酪農	4,109,486.0	102.78	100.55	22,486	3,792,993.0	100.27	97.41	▲ 101,007	7,902,479	101.56	99.02	▲ 78,521
本吉酪農	3,102,281.0	102.35	100.89	27,281	2,887,564.0	95.94	94.33	▲ 173,436	5,989,845	99.16	97.62	▲ 146,155
遠田酪農	3,073,312.0	109.72	105.79	168,312	2,974,948.0	102.12	101.36	39,948	6,048,260	105.84	103.57	208,260
山田酪農	719,027.0	93.94	93.99	▲ 45,973	698,345.0	94.66	91.89	▲ 61,655	1,417,372	94.29	92.94	▲ 107,628
合計	93,330,347.0	99.16	99.21	▲ 743,653	91,039,438.0	99.07	97.67	▲ 2,173,562	184,369,785	99.11	98.44	2,917,215

ORION
ともに前進　技術のオリオン
酪農家の
声を反映した製品づくりと安心の
おけるアフターサービスは
オリオングループの誇りです。
東北オリオン株式会社
本社　〒984-0001 仙台市若林区鶴代町1番68☎(022)284—0691
宮城営業所　古川市新田字泉屋敷59-4
〒989-6226　TEL(0229)26—4330

動物用医薬品　犬・猫用ノミ駆除剤
フロントライン・スプレー
新発売

動物用医薬品
ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩
鉱塩E100
東北ゼンヤク株式会社
〒981-3361　宮城県黒川郡富谷町あけの平2丁目31-5
TEL 022-348-6791　FAX 022-348-6794

TCM SUPER BOBLOADER
スーパーボブロータ
世界トップレベルの超低騒音
67 dB(A) Clear

TCM 東北ティー・シー・エム株式会社
本社・工場・仙台支店　宮城県仙台市宮城野区中野字葦畔135-1
TEL (022) 259—6351(代)

（別表２）　平成９年度用途別販売実績

用　途　別	乳　量（kg）	前年比（%）	構成比（%）
飲用向	133,220,970	98.17	72.26
はっ酵乳等向	7,293,661	106.84	3.95
チーズ向	1,105,976	92.56	0.60
生クリーム等向	5,783,832	104.23	3.14
加工向	36,965,346	100.58	20.05
受託乳量	184,369,785	99.11	100.00

（別表３）　平成10年度会員別生乳計画生産出荷目標数量

	①平成９年度生乳出荷基礎目標数量(kg)	②伸び率(県全体)(%)	③平成10年度生乳出荷基礎目標数量(t)	備　考
蔵王酪農	33,242,000		33,450	
宮城酪農	53,324,000		53,043	
経済連	32,193,000		32,281	
仙台酪農	6,193,000		6,232	
県酪連	31,429,000		31,229	
栗原酪農	8,236,000		7,692	
登米酪農	7,880,000		7,874	
本吉酪農	6,034,000		5,994	
遠田酪農	5,731,000		5,767	
山田酪農	1,525,000		1,448	
合　計	185,787,000	99.58	185,010	

※平成10年５月13日修正

（注１）　平成９年度修正生乳出荷基礎目標数量には1,229ｔのチーズ仕向数量を含む。（チーズ除外出荷基礎目標数量184,558ｔ）

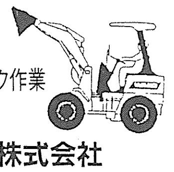
（注２）　平成10年度生乳出荷基礎目標数量には1,385ｔのチーズ仕向目標数量を含む。（チーズ除外目標数量183,625ｔ）

（注３）　平成10年度生乳出荷目標数量の算定は
チーズ除外修正出荷基礎目標数量（184,558ｔ－73ｔ）×平成10年度伸び率100.0％＋1,385ｔ－860ｔ

（注４）　平成10年度生乳出荷基礎目標数量の達成が困難な会員は，その一部を返還できるものとし，本会はその数量を必要な会員に配分出来るものとする。

（注５）　万一，平成10年度の本会生乳出荷基礎目標数量に対し超過・未達が生じ平成11年度生乳出荷基礎目標数量が削減された場合は，その原因となった会員に対し数量を按分して帰属させる場合もある。

（注６）　平成10年度特別生産枠並びに未達配分枠を希望する会員は，４月30日まで本会に申請することとし，本会は中酪の配分量を平成９年度実績等を勘案の上，申請数量を限度として会員に配分するものとする。

KOMATSU
カンタン操作で、
飼料も堆肥もラクラク作業

コマツ宮城株式会社
仙台市宮城野区扇町二丁目１の30
電話(022)(237)7441番㈹

ビフィズス菌は
ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。
活きたまま腸までとどきます。
ビヒダス®
プレーン
ヨーグルト 500mℓ
宮酪乳業株式会社　名取市飯野坂五丁目１番３号　☎(022) 384－5181

来客　接待に牛乳を!!
県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。
宮城県牛乳普及協会
仙台市青葉区錦町一丁目６番５号 ☎022(263)7688
MILK

農業公社牧場について

宮城県農業公社

本年４月より公社組織の一部改正により，畜産施設等の建設部門を主体としていた畜産部に牧場管理部門を設置し，新たな組織のもとに事業の展開を図ることになりました。

牧場管理課が所管する各牧場について，ご紹介します。

１．白石牧場（県出向…西田茂場長，千葉和義）

本県，肉用牛振興策「21世紀みやぎの牛づくり活性化事業」の一環として，今年度から県の委託事業として以下の事について取り組みます。

１）大郷，白石両牧場から選抜した黒毛和種繁殖牛400頭を利用して，現状の肉質を維持しながら増体型に主眼をおいた改良を行い，繁殖雌牛と種雄牛を造成します。年間，増体型の優良雌子牛100頭と雄子牛160頭を農家に配付。並行して候補種雄牛の生産も行います。

白石牧場での画一的な飼養条件での遺伝的能力の評価は正確度を高くするし，積極的な選抜（更新率15%）により，世代交代を短くすることによって，多くの改良量を稼ぐことができます。

２）今後，ますます担い手不足等から農家戸数の減少，経営規模拡大（多頭化→集団管理）へ移行すると思われます。又，中山間地域を主体に遊休農地が拡大傾向にあり，深刻な問題となっております。

白石牧場としては放牧を主体とした土地利用型畜産の展開，試験研究，普及組織とともに，群管理技術の開発と実証展示，更に実務研修の場としての役割を担ってまいります。

２．大郷牧場

黒毛和種，褐毛和種の周年放牧型繁殖牧場であった大郷牧場は今年度，黒毛和種子牛約360頭を販売して閉鎖することになりました。28年の長い間，関係機関，農家等の皆様には本当にお世話になりました。平成５年９月から小牛田市場に上場以来，平成10年度末で約1,100頭を市場販売する見込みです。

平成３年自由化以降，褐毛和種から黒毛和種への品種転換等全国的に黒毛和種肉質偏重，産地間競争の激化が始まり，舎内飼育，穀物に依存する体重重視の取り引き傾向，放牧の一部中止又は軽視に推移していったと思われます。

３．岩出山牧場

従来通り，県からの受託事業として，乳用牛の預託育成，肉用牛の検定と繁殖業務等を実施してまいります。

４．公社牧場の技術確立に向けて

公社牧場産子牛は市場価格と同レベルの時期もありましたが，出荷子牛のスソ物率（約10%）をいかに減少又は解消させるかが最大の課題です。

発育を阻害してる主な原因と，現在取り組んでいる内容を紹介します。（白石牧場も同様）

１）繁殖牛の子育て能力

乳量が多く，哺乳が上手，飼い易い牛群への改良，選抜を早め，群全体の斉一性を確保いたします。

２）分娩後の下痢

現段階で根絶は困難，発症するものと思って確認した方がよいのでは。

・発症日齢の遅延化と発症日数の短縮化により，発育に影響を及ぼさない程度に症状を軽減します。

・放牧地無看護分娩（発症少ない）と舎内分娩の使い分け

３）子牛の運動抑制

繁殖牛のみ放牧，子牛には限られた区域内で制限哺乳と補助飼料を給与する。→親子分離方式の採用

４）競合等によるストレス

ストレスとの因果関係等はまだ解明されてない部分が多いと思います。例えば，子牛の体重別，性別の分離飼育，牛群の密度等を考慮して，立地条件（環境）に適応した方法を取り入れます。

公社放牧産子牛の評価が安定的に高まれば，放牧という飼養形態が見直されてくると思っています。繁殖農家の皆さん，単房からパドックへ，さらに裏山へと親牛だけでも放牧して見ませんか！

削蹄の必要もないし，敷料の節減にもなるし，牛のストレスも緩和されると思います。

（牧場管理課長　佐々木英一）

肉牛出荷、素牛移動ストレス対策の栄養管理に!!
ルビックスS
牛用混合飼料
アミノ酸、ビタミン、ミネラル強化混合飼料
農協 全農 経済連

正統の育ちと味
仙台牛
仙台牛銘柄推進協議会
仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL 022(264)8449～50

WORLD クボタ サンシャイン

株式会社 五十嵐商会
仙台市若林区卸町五丁目１番地４
電話（022）236－２５２５（代表）

平成9年度地域養豚振興特別対策事業実績について

宮城県畜産会

本事業は，近年における養豚を取り巻く状況にかんがみ，養豚の生産振興，生産性の向上を図る事業を支援するため地域養豚振興特別対策事業を平成8年度から実施しております。

平成9年度は，24の養豚集団が取り組み，その内容は(1)器具・器材・簡易施設整備事業の①ハウス豚舎，ＳＥＷ，給餌器，等の簡易施設整備事業は14集団，事業費25,585千円，②種豚導入（自家保留）事業は18集団，事業費208,749千円，(2)産直体制確立事業は1集団，事業費168千円，(3)地場消費促進事業は2集団，事業費1,567千円，計236,069千円となり内補助金として44,836千円を交付しました。

なお，平成9年度地域養豚振興特別対策事業実績は，別表のとおりです。

（事務局次長　佐藤勝也）

（別表）

平成9年度地域養豚振興特別対策事業実績内容　（単位：千円）

区分	平成9年度事業実績額				備考
	事業内容	集団数	事業費	補助金交付額	
1　器具・器材・簡易施設整備事業	①ハウス豚舎，ＳＥＷ，給餌器，洗浄器，豚衡器	14	25,585	12,108	
	②種豚の導入　2,451頭	18	208,749	31,863	
計		32	234,334	43,971	
2　産直体制確立事業	販促資材，試食会開催他	1	168	82	
3　地場消費促進事業	試食会開催，ポスター作成他	2	1,567	783	
合計		35	236,069	44,836	

－ガット・ウルグァイ・ラウンド対策－

経営効率化機械リース助成事業

ゆとりある経営をリース助成制度の利用で実現！

この制度は，リース料の一部を助成し，借受者の負担を軽減するものです。

①　助成対象機械装置

リース料助成対象機械の種類		リース期間
新搾乳システム関連	ミルカーユニット，自動離脱装置	3年以上5年以下
	自動計量装置，自動洗浄装置	3年以上5年以下
	付帯機器　ビット内ストール，ゲート	5年以上8年以下
	バルククーラ	6年以上8年以下
自動給餌システム関連	自動給餌機，サイレージ取り出し機械	5年以上8年以下
	飼料混合調製機械，飼料粉砕用機械	5年以上8年以下
	飼料運搬装置，飼料荷受け装置	5年以上8年以下
	飼料貯蔵装置	5年以上8年以下
畜舎内環境制御関連	微気象抑制システム，セミウインドレス装置	4年以上6年以下
省力化飼養管理関連	パソコン，パソコン周辺関連	4年以上6年以下
その他	高床式分娩ケージ	5年以上8年以下
	多機能床パネル，生体肉質測定機	3年以上5年以下
	高圧洗浄器，堆肥搬出用機械	3年以上5年以下
	送風機	4年以上6年以下
	体重測定機	6年以上8年以下
	特認機械	対象機械により算定

②　リース助成の対象者

乳用牛，肉用牛，豚その他の畜種を飼養する「認定農業者」および都道府県知事が適当と認める経営者（個人・法人），また，農協，農協連，事業協同組合，特認団体も対象となります。

③　リースのメリット

1．多額の資金を用意する必要がありません。
2．リース料は経費として処理できます。
3．手続きが簡単です。
4．コストが正確に把握できます。

農林水産省畜産局
社団法人中央畜産会
都道府県畜産会

リース助成事業のご相談は，宮城県畜産会へ
〒981－1224 名取市増田字柳田379－1
ＴＥＬ　022（382）8133
ＦＡＸ　022（382）8135

平成10年度畜産関係主要行事予定一覧

期	日	行事名	場所	主催者
6月	中旬	宮城県ホルスタイン改良同志会共進会	古川市	宮城県ホルスタイン改良同志会
9月	上旬	宮城県総合畜産共進会（肉豚）	米山町	宮城県畜産会
	下旬	宮城県総合畜産共進会（肉用牛・乳用牛）	小牛田町	宮城県畜産会
10月	下旬	みやぎミルクランドフェア	仙台市	宮城県牛乳普及協会
	下旬	畜産関係職員技術研修会	畜　試	宮城県畜産課
	下旬	日本養豚学会大会	仙台市	日本養豚学会
11月	上旬	仙台牛枝肉共進会	仙台市	宮城県経済農業協同組合連合会
	下旬	環境保全型畜産確立推進シンポジウム	仙台市	宮城県畜産課
	下旬	仙台牛のつどい	仙台市	仙台牛銘柄推進協議会
1月	下旬	宮城県家畜保健衛生業績発表会	仙台市	宮城県畜産課
2月	中旬	東北ブロック家畜保健衛生業績発表会		
	下旬	ヘルシーセミナー	仙台市	宮城県牛乳普及協会
	下旬	宮城県乳質改善共励会表彰式	仙台市	宮城県生乳販売農協連
3月	上旬	宮城野豚枝肉共進会	米山町	宮城野豚銘柄確立推進協議会

実践大学校生の抱負

「新入生と卒業生」

農業実践大学校畜産学部　技師　**熊谷　弘明**

私は今，宮城県農業公社白石牧場にいます。この4月に入学した1年生の専攻学習として白石牧場で実習を行っています。1年生に入学すると本校（名取市）で一般の科目を勉強するので，畜産の専門的な勉強や実習は年に6回ある専攻学習で行うようになり，その1回目が白石牧場での実習という訳です。そのため，畜産学部職員の私も今回の実習で初めて1年生と一緒に勉強するのです。「今年入学した1年生はどんな学生なんだろう。」と期待に胸を膨らませ白石へ行くのを楽しみにしていました。

楽しみはそれだけではありません。実は，白石牧場には昨年私が初めて担当した学生がこの4月から働いているのです。彼に会うことも私の楽しみ（ちょっと心配）の一つでした。

白石牧場に行ってみると，卒業した彼（菅野君と言います。）は，想像以上に頑張っていました。私と現場で話をしている最中にも，パドック内で乗駕している牛を見つけると，サッとメモ帳を取り出し，耳標番号のチェック。学生の頃とは想像を絶するほどの（そこまで言っちゃいけないか。）大違い。私は，本当に感動してしまいました。牧場の方達にも「自分から仕事を見つけて，良くやってくれている。」とのことで，自分が誉めてもらったような気になってしまいました。

さて，新入生の1年生ですが，牧場の方達に引っ張ってもらいながら何とか作業をこなしています。普段はやらないような不慣れな作業に悪戦苦闘していますが，その中でも投げ縄の得意な者，機械に興味を示す者，夜の部の得意な者と，それぞれ個性が見え始めてきました。彼らが菅野君と実習している姿を見ると，同じ学校の学生とはとても思えませんが，卒業するまで約22ケ月。学生でいる間に多くの勉強と経験をし，菅野君のように立派な社会人になるよう，彼らと一緒に頑張っていきたいと思います。

このように在学生・卒業生それぞれ頑張っております。『畜産みやぎ』を読んでおられる方々には様々な場面でご指導いただくと思いますが，今後とも，農業実践大学校をよろしく御願い致します。

畜産振興の明日を
担う地方競馬

地方競馬全国協会

●効能‥‥粗飼料の食い込み、消化吸収促進
悪臭防止、優良堆肥作り
創業38年の販売実績を誇る安全、天然野生酵母
Ferment Feed
ビタコーゲン
株式会社 セイワ 東北営業所
〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目16番3号
TEL (022) 215-3112
FAX (022) 213-7190

STAR　スター農業機械
マニュアスプレッダ
倍角ステアリングで
ラクラク作業

TBM1550＋ADW1800
(倍角ステアリングボディ)　(ディスクビータ)
スター農機株式会社 仙台営業所
〒985-0845 多賀城市町前2丁目87　TEL 022-367-4573

＜畜試便り＞

草地の簡易更新技術

宮城県畜産試験場

【本県草地の現状】

宮城県内における牧草・飼料作物の作付面積は，14,300 ha で，そのうち約80％は牧草である。県内の寒地型永年草地はオーチャードグラスを基幹草種とした混播栽培が行われているが，永年草地の維持・利用管理あるいは経年化に伴う草生の変動，特に，草地の裸地化，長草型草種であるオーチャードグラスの衰退，それに伴う生産性の低下などは草地管理上の問題点となっている。一方，近年の草地の荒廃は，草地の管理や更新が必ずしも順調に行われていないことが主な原因とされ，自給飼料と比較した購入飼料価格の低下，一戸当たりの家畜飼養頭数の増加に伴う労働の強化等が背景とされている。このため，低コストで軽労化を可能とする簡易更新の技術開発が強く望まれている。

【簡易更新とは】

簡易更新のメリットは，①作業工程が少なくなるため低コスト化および軽労化・ワンマンオペレーティングが可能，②土壌浸食の危険性が少ない，③更新面積や適用場面の拡大が可能等であるが，異なる各草地に対応する安定した技術が確立していない。

【試験研究の状況】

上記の観点に基づいて，当場では著しく荒廃した更新を要する草地へ，ロータリ式作溝型施肥は種機を用いて牧草を追播し，その茎数や収量の変動に及ぼすは種時期，は種量，草種および刈払い等の影響について試験を実施している。その上で，追播草の生育に及ぼすこれらの要因の効果を明らかにし，追播指針について検討することを目的とした。利用したロータリ式作溝型施肥は種機は，既存草地に幅4～5 cm，深さ10cmの溝を，27cm間隔ですじ状に切り，その溝に施肥，は種，覆土および鎮圧を行う。簡易更新法は完全更新法と比較して，経費が安価になると試算されているが，当該機は5つの作業工程を一台の機械で同時に行うものであり，さらなるコストの低減が図られるものと考えられる。

【これまでの成果】

①種子量を減らせる

慣行の完全更新法での播種量の半分，従来の簡易更新法の¼の量で十分定着茎数を確保できる。

②播種適期を拡大できる

本県の播種適期は9月とされているが，この方法では9月～10月上旬でむしろ遅い方が良い。また，オーチャードグラスを追播する場合は春まきでも良好である。

③ギシギシの蔓延防止効果が期待できる

草地の最も強害雑草とされるエゾノギシギシはその種子による拡大防止対策が重要であるが，この方法では埋却した種子を土壌表面に戻すことが少ないので土中種子からの発生が少なくなる。

また，ギシギシは発芽に光を必要とし，草地内に裸地があると発生量が多くなるので追播によって裸地を少なくできる。

④優良牧草を有効活用しながら草生を回復できる

本県の基幹牧草であるオーチャードグラスは3～5年目頃から株立ちし収量の低下が始まるが，この方法ではロータリ刃が株を切り裂き，活力を与えるので再生力が向上するなど，既存の牧草生産を利用しながら草地の改善が可能である。

【現在取組中の課題】

①コストの把握と経済性検討

②傾斜草地での土壌浸食の軽減比較

（草地飼料科長　佐藤　章）

宮城県動物薬品器材協会（会員名）

㈱ タ ッ ク 仙台市青葉区上杉3－3－8　TEL022－225－7330	㈱ 美 濃 谷 仙台市太白区羽黒台31－14　TEL022－245－4306
㈱ エ ー シ ン 仙台市若林区卸町2－10－3　TEL022－284－8111	小 田 島 商 事 ㈱ 古川市清水字周防10－1　TEL0229－26－4567
㈱ ト ー シ ン 古川市古川字上古川屋敷9－1　TEL0229－24－3211	㈱ ニ チ エ ー 仙台市若林区卸町東1－8－20　TEL022－232－9755

＜衛生便り＞

畜舎内アンモニアガスが家畜に及ぼす影響

仙台家畜保健衛生所

アンモニアガス（NH_3）による畜産環境汚染は，社会問題となっているだけではなく，家畜にとっても悪影響を及ぼしています。

一般に家畜の飼育環境下で発生する有害ガスには，NH_3，二酸化炭素，硫化水素，メタン等があり，特に問題となるのがNH_3です。NH_3は無色で刺激性の気体で，人間がNH_3を感じる濃度は25ppm以上で，耐えられる濃度は50ppm位と言われています。鶏では20ppmという低い濃度でも長時間暴露するとニューカッスル病や気のう炎に対する感受性が増大し，呼吸器感染症の危険が倍になります。1～7週齢の豚では100ppmの濃度に2～6時間暴露すると咳や鼻粘膜の炎症，肺の充出血や水腫が見られます。家畜全体にわたって200ppm以上になれば，眼の角膜炎症や肺水腫が多くなります。

また，家畜の生産に悪影響を及ぼさない低濃度のNH_3でも，病原体に対する抵抗力が低下して2次感染の危険性が高くなるので，家畜の健康保持とも関連して理解することが大切です。（人間では健康安全面から許容量が25ppmで8時間，35ppmで15分間となっている）

さらに，NH_3は腸の中でも発生します。腸内細菌による下痢，軟便はアルカリ性を示し易く，この時NH_3も検出され，このような状態が持続すると肝臓に大きな負担がかかります。NH_3は吸収されて肝臓で解毒されますが，その解毒にエネルギーが必要となるため，飼料効率がその分だけ低下することになります。こうした生理的ストレスも畜産経営にとってマイナス効果として見過ごすことはできません。

このように，NH_3は単なる環境問題だけではなく，家畜の健康と深く関係していることを再認識する必要があります。畜舎換気に充分留意し，人にも家畜にもやさしい畜舎環境を心がけたいものです。

（病性鑑定課長　横山亮一）

＜新人紹介＞

宮城県経済連畜産部

長　山　久　志

私が宮城県経済連に入会したいと思ったのは，就職活動を忙しくしていた学生の時でした。宮城県農業短期大学畜産科で，畜産分野を学んでいた理由ですが，2年生になり，その後の進路をどうしようかと考えていた時期に，ふらふらと求人票を眺めていました。そして，私の目にとまったのが宮城県経済農業協同組合連合会でした。よく在学中に実習や，家畜人工授精師を取得した時の講習等でお世話になっていたので，以前から興味がありました。とくに畜産関係では，我が家で酪農をしているので，これらの生産物がどう扱われ，流通しているのかをもっと知りたかったし，仕事にも携わりたいと思っていました。

本会に採用され，今年から新社会人として，新たなスタートをきり，毎日緊張しながら，慣れない仕事を頑張ってしています。私が現在勉強中なのは，枝肉の見方や，これに関係している事です。連日，仙台中央食肉卸売市場で，上場した枝肉の等級や格付を自分なりに付けて単価を予想し，セリ単価と見比べています。でも，初めてのことなので，中々一致しなくて四苦八苦しながら修業している所です。

休日等は，友達とドライブやボーリング，ビリヤード，ゲーセンで遊んだりしています。もちろん，家の事も手伝います。農作業や搾乳等。趣味は，夏はドライブ，冬はスキーで，今年はサーフィンにも挑戦してみたいです。又，GLAYやTHE Yellow Monkey，洋楽のポップス，ハードロックの音楽鑑賞するのも好きです。理想のタイプは，明るくて面白いお酒の飲める人がいいです。なにせ，自分がお酒好きですから。

まだ入会して間もないですが，本会のみなさまやＪＡ，生産者の方々の足を引っ張らない様に，まずは基本的な仕事や与えられた仕事を確実にこなせる様になって楽しくやりがいのある毎日を送りたいです。

お肉は、私たちの体の血となり
肉となる、たいせつなタンパク源。
ビタミン、ミネラルも豊富な、
たいへん優れた食品です。

宮城県食肉消費対策協議会
〒981-1224　名取市増田字柳田379－1（社団法人・宮城県畜産会内）
電　話　022－382－8133